



5	2017	6	8~9	ステンレスドラムに樹脂、溶剤をディスパーで攪拌しながら、ビニール袋に入った端数顔料を仕込む際、袋がディスパーシャフトに巻き込まれ、袋を持っていた左腕も同時に巻き込まれた。	22	7	162	50 ~ 99
6	2017	6	10~11	充填作業を2名で行っていたが、一方の作業者がパレットに石油缶を積み付け、その後PPバンドにて結束を行っていた。PPバンドの結束は、石油缶の1段目をしゃがんだ姿勢で力を入れるため、足を伸ばして踏ん張った状態で行っていて、後ろを通行した際に伸ばしていた足に躓き転倒した。その際に、近くにあったプラスチック製のコンテナボックスに頭部をぶつけた。	58	2	921	100 ~ 299
7	2017	3	15~16	勤務先倉庫で月末の棚卸しをしている時に、上にある粉体を数えようと棚に登ろうとしたところ、足を踏み外し、足首を捻った状態になり、そのまま落下して負傷した。	40	1	391	10 ~ 29
8	2017	3	16~17	充填用プラットフォーム上で、溶剤の移し替え作業を行っていた際、溶剤容器の一方はドラム缶であり、静電気対策でプラットフォームの縁からドラムの中ほどにあるアース端子にアース線で接続されていた。作業中に移動するとき、このアース線に足を引っ掛け転倒し、膝を床（鉄製チェッカープレート）に打ちつけた。	73	2	417	30 ~ 49
9	2017	3	14~15	リーチ式フォークリフトにて空パレットを工場内に運ぼうとし、通路をバックで走行中、運転を誤り置いてあった空コンテナに接触しそうになり、とっさに身を翻したときにフォークリフトとコンテナの間に左手が挟まれ小指を骨折し、無理に引き抜いたことで裂傷ができた。	34	7	222	—
10	2017	2	16~17	事務所においてトイレに行こうと席を立ち2、3歩歩いたところで足がもつれ転倒し右足甲を骨折した。	55	2	921	10 ~ 29
							10	

11	2017	1	11～ 12	工場内で荷物運搬中、ハンドリフトの先端に足をひっかけ肩から倒れ、左肩を骨折する。	78	2	362	～ 29
12	2016	7	15～ 16	塗装製造工場において、ロールミルの洗浄作業でミルを稼働させながらウエスで拭き取り作業を行っていたところ、回転しているドラムにウエスが引っ掛かり手袋ごと巻き込まれた。	30	7	163	10 ～ 29
13	2016	6	10～ 11	原料の入ったドラム缶用袋をカッターナイフで開封している時、誤って左手人差指を切った。	68	8	364	1～ 9
14	2016	5	13～ 14	シンナーパレタイザー付近でパレタイザーライントラブルの復旧作業をしていたところ、進入禁止チェーンに足を引っ掛けて倒れ、左肩を打撲。	59	2	417	100 ～ 299
15	2016	4	9～ 10	塗料製造工場にフォークリフトでパレット積荷を運び入れる作業時、工場の扉を開けるため、フォークリフトを停止させ、飛び降り、着地する際に左足首を捻り負傷した。	21	2	222	100 ～ 299
16	2016	3	16～ 17	施盤機よりゴムロールを取り外す時に、吊りバンドの張り具合が弱いのに気付かず、ゴムロールの軸部に手を添えたままゴムロールを外した為、軸部と旋盤機の間左手人差し指が挟まれ負傷した。	64	7	379	10 ～ 29
17	2016	2	15～ 16	工場内で、機械を掃除するためドリル操作中、誤って左手薬指を骨折してしまった。	32	19	169	1～ 9
18	2015	12	14～ 15	工場作業場にて、ドラム入り樹脂をポンプにて移動容器に注入後、残った樹脂を絞りきるためポリ性内袋を引き上げ、袋の底をカッターナイフの替え刃で切った時、強く握りしめたためナイフの刃で指を切った。	38	8	364	50 ～ 99
19	2015	12	12～ 13	事業場内で休憩時間中に、階段を3段飛ばしで降りた際、着地がうまくできずに足を捻ってしまった。	30	19	999	30 ～ 49
				塗料の製造現場にて、原材料（注入止水剤）10kg程の液体が				

20	2015	11	11～ 12	入った一斗缶から、1.8kgを別の容器に小分けする際に、小分け容器内の液体が跳ね上がった。デジタル秤の数字表示部を見ていた事で跳ね上がりに気がつかず、液体が右目に付着し装着していた軍手で拭い取った後に流水にて目を洗ったが、右目の角膜を損傷した。	27	12	514	50 ～ 99
21	2015	11	11～ 12	二車線の道路で片側規制中のところ、表示を見落とし規制中の車線を走り、停車している工事車両車に衝突し、足が挟まれ負傷する。	39	17	221	10 ～ 29
22	2015	8	9～ 10	タバコの吸い殻入れの水を変え終え、水の入った吸い殻入れを手に持ち階段を登っている時、平衡感覚を失い階段下から4段目から転がり落ちた。	68	1	413	50 ～ 99
23	2015	7	17～ 18	小走りで台車を押している際に、台車がバランスを崩し急に止まったために、台車の取っ手部分で前腹を強打した。	63	3	362	10 ～ 29
24	2015	5	13～ 14	パイプ洗浄作業をするため、地上に置いてあったパイプ（580kg）をクレーンで吊り上げ移動させ洗浄槽に入れようと下に降ろそうとした時、うっかりしてパイプと洗浄槽の間に立ってクレーン操作をしていたため逃場を失いパイプと槽の間に右脚をはさみ負傷した。	64	7	211	1～ 9
25	2014	10	10～ 11	工場内で塗料が入った容器を次工程の場所へ移動させようとしたとき、攪拌機のプロペラが左手に下降してきて左手指を挟まれ打撲した。	47	7	169	30 ～ 49
26	2014	9	16～ 17	希釈槽のタンク上部の架台に、ハシゴ階段で登り、洗浄作業を行った。作業を終えてハシゴ階段を降り、タンク上部に着地した際に転倒し、右足関節内果を骨折した。	59	1	371	100 ～ 299
27	2014	9	10～	混合設備を分解洗浄中、洗浄した部品（重さ約12kg）を機械に取り付けようと機械に近づいたところ、作業架台から右足を踏み外した。前方への転倒を避ける為、咄嗟に後方へのけ反っ	31	2	371	50 ～

			11	てしまい、部品を持ったまま、後方へ転落した。その際、右手首、右足首を捻り、持っていた部品で右胸を強打した。					99
28	2014	6	14～ 15	工場内で、リフターの台の上に飛び乗ろうとした際に、体勢を崩してしまい、左肩を脱臼してしまいました。	30	1	229		10 ～ 29
29	2014	5	8～9	部品供給中、パレットに乗って部品の入っている箱を持ち、降りようとした際、床との段差で足を踏み外し、左ひざをひねり、負傷した。	24	1	379		100 ～ 299
30	2014	5	14～ 15	プラスチック押出加工工場で、押出機のフィーダー（コイル型材料供給装置）を清掃後、組立てている時、コイルのセットが不十分だったため、コイルを回してキー溝に合わせてセットしようとした際、回転体などの可動部分には絶対に手をださないように指導しているが、右手でコイルを押さえたまま、スイッチを入れモーターを回したため、右手第1,2,3指をコイルと筒の間に挟まれた。	47	7	214		300 ～ 499
31	2014	3	11～ 12	粉体工場に於いて、粉碎分級行程中作業員がバッグフィルター（雑粉）の処理作業を行おうとした際に、誤って体勢を崩し、その際対面下部に設置されているバッグフィルター動力源のブロワー（集塵機）動力モーター稼働中のレベルトに左手手袋が触れて、薬指部を巻き込まれ、切断した。	34	7	121		30 ～ 49
32	2014	1	8～9	溶剤工場シンナー製造ライン前通路にて、シンナー充填用プールコンベヤーに缶をセット後作業場に戻る途中、置いてあった製品缶が死角となり、走ってきたフォークリフト右前輪と左足が接触してしまい負傷した。	30	7	222		50 ～ 99
33	2013	12	3～4	駐車場に向かって歩いていた際、足元に置いてあったパレットにつまづき、転倒。ひじを骨折した。	41	2	379		30 ～ 49

34	2013	11	20～ 21	看板の撤去中、柱中と下にベースが付いた看板を横に倒したところ、ベースが持ち上り、腕に当たり、骨折した。	41	6	419	1～ 9
35	2013	8	7～8	手詰充填ラインにて、充填準備中、ホッパーに手を入れ、異常の有無を確認していたところ、指先がロータリーバルブの歯車に咬み込まれ、手の人指、中指、薬指の第1関節の上部を切断した。	41	7	169	30 ～ 49
36	2013	7	10～ 11	塗料製造準備中、原材料搬入時は扉を開け、フォークリフトにてパレットに積まれた原料を2階に上げ、作業終了後に扉を閉めるが、扉を閉め忘れ、次の作業に移ったため、過って転落した。	45	1	414	100 ～ 299
37	2013	3	13～ 14	タンクに溶剤を充填する準備中、充填用ホースを足にひっかけ、転倒した。	28	2	417	10 ～ 29
38	2012	11	16～ 17	誤って塗料をこぼしウエスで拭き取る作業中、塗料の上で足が滑り、腕から転倒。床面に手首を強打し、骨折した。	40	2	911	10 ～ 29
39	2012	11	11～ 12	廃材を電動の丸ノコギリで切断作業中、誤って、手人差し指がノコギリの歯に巻き込まれ、人差し指を切断した。	62	8	131	10 ～ 29
40	2012	11	15～ 16	展示会場にて、看板を取る作業中、バランスを崩し、脚立と一緒に倒れ、両足踵を強打し複雑骨折した。	38	1	371	1～ 9
41	2012	9	16～ 17	150kg入りドラム缶をプラスチックパレットから降ろそうとした際、ドラム缶の天部奥側を持ち手前に引っ張ったところ、ドラム缶が滑り足中指上に落下した。	45	4	611	50 ～ 99
42	2012	9	16～ 17	工場内にて、自動充填機とパレタイザーを使用し、ペール缶に防水材を充填していた際、不具合を発見した為、積み上がった缶の上につつ伏せになり、対処していたところ、缶を運搬して	25	7	169	50 ～



51	2011	9	7~8	工場第一塗装ミキシングルーム内において、塗料の補給ドラム缶の入替作業中、指定の補助地具を使って、塗料入ドラム缶（約35kg）を持ちあげた際、右腕が上がりなくなった。尚、医師の診断は骨折であり、後日原因究明のため精密検査を行い、疲労骨折と診断された。	50	19	611	10 ~ 29
52	2011	9	16~ 17	工場内にて、RIテスターのロール清掃作業をしていた際、RIテスターには、左右に移動しながら回転する可動式ロールがついており、清掃時に誤って、左手がロールと土台の間に挟まり、左手人差指を切断した。	41	7	169	1~ 9
53	2011	8	16~ 17	塗料工場3F中央通路で、溶解移動バック（総量548kg）を攪拌場所から溶解タンク仕込み場所まで移動させているところ、中央通路から南側通路へ左折する際、移動バックを半身状態で勢いよく引っ張ったため、左足が残った状態となり、移動バックのタイヤに左小指付近を挟まれた。	24	6	362	10 ~ 29
54	2011	5	19~ 20	攪拌機が突然故障し動かなくなった為、床上1.6mの設備の上に乗って修理作業をしていた。パイプレンチを掛けて手前に引いた時に突然パイプレンチが外れた為、勢いあまってバランスを崩し、咄嗟に床に飛び降りた。その時左足の踵を床面に打ち付けた。	45	3	364	30 ~ 49
55	2011	3	11~ 12	製品倉庫左側で、凹んだ1斗缶（空缶）を足で潰しドラム缶に移しかえる作業を行っていた際、足首をひねって捻挫した。	38	19	521	100 ~ 299
56	2011	3	10~ 11	当社エアゾール工場内の製品、箱詰め場所において、箱を両手に持ちパレット迄運ぶ際、箱重量測定秤の電源コードに脚を引っかけて膝から転倒した。その時は痛みもひどくなく、提示の17時まで作業して帰宅した。帰宅後だんだん痛みが増し、当日夜受診した。	59	2	417	50 ~ 99
				A社第1工場にてコンテナの残材（塗料）処理と思われる作業				50

57	2011	2	16~ 17	中に倒れている所を発見。呼びかけには応じるものの意識がはっきりしない状態で嘔吐があった為、急ぎ救急車要請した。	61	2	416	~ 99
58	2011	2	16~ 17	練肉作業工程に於いて、練肉機械の3本ロールの清掃作業中に、機械の一部のセキ板を持ち上げた際、完全に固定されてなくそのセキ板が外れたと同時に、3本ロールの後ロールと中ロールの間に、右手の指と甲をはさまれ、手の甲をすりむき、小指の損傷と骨折、薬指も骨折してしまった。	55	4	163	50 ~ 99
59	2011	1	10~ 11	粉体ラインの2階で、オートフィーダ稼動中にオートフィーダの排出口から袋の中へ添加剤を抜き取っていた。添加剤の量が少なかったため、オートフィーダの底部の添加剤を払い落とそうと、手を突っ込んだ際、右手がオートフィーダの底部の排出穴に引っかかり、回転しているブレードと排出穴に挟まれ第3指第一関節付近を切断した。	39	7	169	50 ~ 99
60	2010	11	10~ 11	第2水性工場1階ラベル室前のスペースにフォークリフトで進入し、停止した。運んで来た品物を小分けする作業準備の為、フォークリフトから下車した時に右足甲外部に負荷がかかり(降りた直後は捻った程度の痛みだった)2日後に内出血とハレが認められ、3日後に医者診断を仰いだ。結果は骨折であった。	46	19	222	10 ~ 29
61	2010	8	8~9	工場内断裁機にて、キャブロン断裁助手として作業中、キャブロンの不要な部分が断裁刃を出た付近でつまり、指でつまみ出せると判断し、断裁刃付近まで指を出した。距離感がつかめず断裁刃に接触し、左人差指を負傷した。	60	8	169	10 ~ 29
62	2010	7	16~ 17	勤務(9:00~16:00)を終え退社時に勤務場所3階から階段をおり、1階の出入り口を出た所で、道路の凸凹に左足がつかず転倒した。その際足をひねり痛みを感じた。	44	2	417	100 ~ 299
63	2010	5	10~	当社A工場塗装室内で洗浄作業に従事中、洗浄済の製品を移動している際、次の製品がコンベアから落下しそうになっている	42	2	417	50 ~

			11	のに気づき、急いで受け取りに戻ったところ濡れた床に足を滑らせ、背中から転倒し床で後頭部をうち負傷。				99
64	2010	3	9～ 10	空ドラム搬入コンベアー上にドラムが引っ掛かり、室内への搬入作業が出来なくなった為、被災者が現場に行き、ドラムのバンド部位を持って軽く引いた際に、並んでいたドラムが自重で急に動いた為、引こうとした手がドラムバンド部位とコンベアー上に設置された。ドラム飛び出し防止アングルとの間に挟まれた。	55	7	611	50 ～ 99
65	2010	3	14～ 15	グラビア製造で攪拌中に添加物のビニール袋入り顔料をディスペアーを回しながら投入した際に、袋の先端がシャフトに巻きつきシャフトに近い左手が巻き込め、左腕の外傷を伴う骨折に至った。巻き込まれた直後本人がスイッチを停止した。	34	7	129	300 ～ 499
66	2009	11	14～ 15	倉庫において階段を降りる時、作業を急ぎ、また靴が油で汚れていたため、足を滑らせ階段2段分転落して尻餅をつき、右足首を捻って骨折した。	35	2	413	10 ～ 29
67	2009	9	11～ 12	当社試験室内の製品検査場で溶剤（木型離型剤）を20リットルペール缶で攪拌中、小型攪拌機械の電気コードがショートして引火し、火炎で両手・両腕・腹・右足を火傷した。	40	11	351	10 ～ 29
68	2009	8	16～ 17	工場において、蛍光X線の分析をしていた。試料を蛍光X線分析機にセットする時に、試料をスプーンで攪拌した。分析終了後、スプーンを洗浄するため、洗浄用シンナーの入ったビーカーを運んでいた。その際、足が滑って転倒し、肘を打って骨折した。	32	2	417	100 ～ 299
69	2009	7	14～ 15	調合工程で18リットル石油缶入りの仕上がりインキを次工程に運ぶ際に、インキが軟らかく、缶にフタをしてあったが、中のインキが漏れて、両手首と腹部、左脇及び左足にかかって化学熱傷を負った。	22	12	519	50 ～ 99
				塗料工場の分散場で高さ20cmの台車に載せた総重量20k				

70	2009	6	9～ 10	gの添加剤をロードセルで計量する為、両手で原材料の持ち手をつかみ、持ち上げた時、腰部に激痛が走り、動けなくなった。	26	19	921	300 ～ 499
71	2009	6	11～ 12	製造機械清掃作業中（不定形作業中）、機械上部に仮置きした分解部品が掃除機のホースにより落下して、安全靴に落ち、足を骨折した。	53	4	169	30 ～ 49
72	2009	5	17～ 18	化学工場の加温庫前で、原材料のフェノールが運搬中に落下し、運搬機（クランプ）の角でドラムに穴があき、中身がこぼれ出した。その後処理をしていた被災者が転んで、両足の膝から下及び右腕肘から先に、フェノールが付着した。その状態で処理作業を続行したため、傷病部位に、薬傷が発生した。	21	12	511	50 ～ 99
73	2009	5	11～ 12	工場内の空パレット保管場所において、空パレット（32kg～35kg）1枚を取り出そうとしていた。7段積み（高さ91cm）の最上段のパレットを手前に引いて降ろそうとした時、パレットがバランスを崩し、手で押さえきれず、足の上に落下し、左足はよけたが、右足にあたり骨折した。	31	4	379	100 ～ 299
74	2009	4	10～ 11	工場内で原材料の仕込み（塗料の原材料）作業をしている時に、左肩から激しい痛みが発生し、次第に左腕が痺れる状況になった。	37	19	611	100 ～ 299
75	2009	3	4～5	当日朝本社での会議に出席するため、単身赴任先から自宅に向って高速道路を走行中、本線が左右に分かれるルートの分離帯に衝突し、負傷した。	58	17	231	500 ～ 999
76	2008	12	10～ 11	鉄製のカートリッジ（1kg）を左手に乗せて移動しようとした時、足を滑らせ転倒した。その際、床とカートリッジの間に左手指を挟まれた。	42	7	521	30 ～ 49
77	2008	10	16～ 17	作業場において、充填作業中、体勢を捻った際、腰に力が入らなくなり、動けなくなった。	51	19	921	50 ～

									99
78	2008	10	13～ 14	屋外タンクの防油堤の内側のゴミを清掃し、防油堤（高さ50cm）を跨いで外に出ようとした際、漏れ油集積用の溝に右足を取られて転倒し、配管パイプの下の部分に右足が入り、捻って負傷した。	64	2	416		30 ～ 49
79	2008	9	11～ 12	金型に残った成型品を取り除く際、何らかの影響で金型が閉り、右手指が挟まれ圧迫された。	25	7	164		30 ～ 49
80	2008	8	14～ 15	印刷機の汚れ防止フィルム貼付作業中、左手をレールカバー上面に置いたままレールカバー上昇操作を行い、スイッチのみを見ていた為、ギアボックスとレールカバーの間に左手指が挟まった。	48	7	166		100 ～ 299
81	2008	6	8～9	使用したウエスを所定のバケツに入れる為、通路を歩いて移動中、穴の開いたグレーチングに左足を落とし、転倒しそうになった為、咄嗟に右足を踏ん張った時、右足に強く体重が掛かり、右足指を骨折した。	39	19	921		10 ～ 29
82	2008	5	14～ 15	ローリフトをバックさせようとした時、勢いがついてしまい、後に置いてあるコンパウンドタンクとローリフトの間に右足を挟まれ受傷した。	42	7	229		30 ～ 49
83	2008	5	11～ 12	パレット上に充填した4本積み味入ドラムの最後に積んだドラムに対し、ラベル位置の修正が必要な為、人力で微調整した時、隣のドラムとの間に右手指を挟んだ。	33	7	611		100 ～ 299
84	2008	5	9～ 10	タンク下のバルブの開閉作業中、2階ステージに行く階段の途中で足を滑らせ負傷した。	50	1	413		10 ～ 29
85	2008	3	16～ 17	調色作業終了後、床面の堆積物（塗料）を除去するためシカラップを固定しハンマーで剥離させている際、堆積物の破片が	43	4	364		1～ 9

				右目に飛散し負傷した。				
86	2007	12	13～ 14	会社内事務所の清掃中に足を滑らせ転倒し、頭部を強打し（一時意識が途絶えた）負傷した。	58	2	418	10 ～ 29
87	2007	12	11～ 12	インク製造会社のオフセットインク製造場で派遣社員として就業中に、原材料の粉袋（1袋25kg）投入する作業で4袋目投入時に腰に痛みを感じ負傷した。足を曲げず、腕の力で持ち上げ、腰の高さ程度になって持ち替えようとして発症した。投入作業は1月に2階程度の作業。	37	19	921	300 ～ 499
88	2007	12	15～ 16	工場作業所でドラム缶をホイストで吊り上げた時、金具のストッパーが外れドラム缶が足に落下し負傷した。	59	4	372	100 ～ 299
89	2007	11	15～ 16	工場の加圧式混練機（PRミキサー）を機掃中、安全バー（L型アングル）を装着せずに作業を行っていたため、加圧式の蓋がゆっくりと下降している事に気付かずに、蓋と混合槽の間に指を挟まれ、負傷した。	53	7	162	300 ～ 499
90	2007	10	17～ 18	就業終了後、食堂奥のロッカールームにて着替えてタイムカード打刻後、食堂から出る階段を降りる際、足元が狂い最後の一步で足を捻り受傷した。	29	19	413	300 ～ 499
91	2007	9	15～ 16	工場敷地内の広場を自走式草刈機で草刈中、コンクリート製側溝の淵に刈刃か、タイヤが当たったため、側溝に落ちないように後退レバーに入れたところ、前進→後退の急転換したため、ハンドルを取られ、そのはずみで足が側溝にはまり、脱輪した草刈機が足の上に乗る、エンジンを切ったが、間に合わず、足を負傷した。	59	6	363	50 ～ 99
92	2007	8	15～ 16	塗装室で塗装作業中、塗装室前での溶接作業（サンダー研磨）による火花がウエスに着き出火した。それを消しに行こうとした時、衣類に引火し負傷した。	32	11	512	1～ 9

93	2007	7	13~ 14	4階の原材料仕込現場において、ホイストクレーンを使い、フレコンバック（500kg）を吊り上げる作業を行っていた。（現在ホイストクレーンの教育訓練中）フレコンバックの紐が、ホイストから外れない様に引っ張りながら、降りようと踏み台に足を掛けた時、バランスを崩したため、踏み台が横滑りし、背中から転倒し、その時手を捻りながら床についてしまったため、負傷した。	36	1	371	1~ 9
94	2007	7	0~1	ゴム手袋を着用し、洗浄作業を行っていた。ゴム手袋の破れた箇所より洗浄溶剤が浸透したのに気付かず、作業を続けていた。その洗浄溶剤が触れた指が炎症を起こし、負傷した。	55	12	519	50 ~ 99
95	2007	5	6~7	出張のため駅から新幹線に乗ろうと階段を掛け上っている最中に足を踏み外し、その時膝関節が逆方向に曲がり負傷した。	39	1	413	300 ~ 499
96	2007	5	8~9	2Fから両手に荷物を持ち、1Fに降りるときに、足を滑らせ負傷した。	42	1	413	30 ~ 49
97	2007	4	15~ 16	工場でプラドラム（有害物）の口に手廻しポンプを差し込んだ状態のプラドラム容器の重量を計量するため、床の上から1人で手で持ち上げている時、差し込んでいた手廻しポンプがプラドラムから外れた弾みで、吸い込み口部分に溜っていた中味が飛散し、手に付着し負傷した。	43	12	514	50 ~ 99
98	2007	4	11~ 12	テント倉庫内で、空缶にラベルを張り終えた缶を、1箱36缶入るダンボールにつめ、積み上げた時に腰に激痛が走り、負傷した。	62	19	611	100 ~ 299
99	2007	3	13~	インキ攪拌作業中、その作業を終了させようと、攪拌機の回転スピード（900回転数）を左回りで、最低回転数（400回転数）まで下げようと、ハンドルレバーを右手で持った時、ハンドル	25	7	162	30 ~

			14	が急にものすごい回転スピードで右回りになり、厚手ゴム手袋をしていたため、すぐには離れず、手がねじれるようになり負傷した。					49
100	2007	3	17～ 18	製造課の製造所で、被災者が18リットル缶に充填中、充填口付近から静電気に引火し、火傷を負った。電気を逃すアース線を繋いでいたが機能していなかったらしい。	32	16	321		100 ～ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。